

### ごあいさつ



日頃より温かいご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年7月に発生した未曾有の豪雨災害から約1年が経とうとしています。時節を逸してしまいましたが、被害に遭われた多くの村民の皆様へ、改めて衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、これまで昼夜問わず復旧・復興作業に従事されている村職員をはじめ関係各所の関係者、工事現場の方々、そして村民皆様へ敬意を表するとともに深謝申し上げます。

また、「西野桂一後援会だより」第2号の発行が当初より遅れましたことを深くお詫び申し上げます。状況の変化や災害対応に追われる中でのご報告内容となりましたが、今号では、12月及び3月議会での「一般質問」や「討論」内容を中心に、地域課題への活動状況をご紹介させて頂きたいと思います。

現在、東日本大震災など先行事例を勉強するとともに、現職時代の経験とネットワークをフル活用し、役場や関係機関と連携しながら急傾斜地や内水被害対策、水道復旧、中小企業支援や農地復旧など生活再建・村の再生に向けた取り組みを進めております。この度の災害により私自身も被災いたしました。被災者としての経験を活かし、現場の声をしっかりと届け、必要な支援を迅速に行うために尽力して参ります。

より安全で安心できる村を築くため、皆様と力を合わせて、この困難を乗り越えていきたいと考えておりますので、どんな小さなことでも、お気軽にご意見やご要望をお寄せ頂ければ幸いです。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

鯉川村議会議員／西野 桂一

令和6年  
12月

- 1日(日) 鯉川村施行70周年記念植樹及び式典
- 3日(火) 全員協議会
- 6日(金) DMOによる持続可能な地域づくりを考えるシンポジウム
- 7日(土) ※さけがわ元気プロジェクト実行委員会
- 9日(月) 12月定例会開会 産業厚生常任委員会及び広報常任委員会
- 11日(水) 12月定例会最終日全員協議会
- 14日(土) ※京塚地区住民と議員による意見交換会
- 18日(水) 最上地区広域連合全員協議会
- 19日(木) ※山形県主催「空き家活用ワークショップ」
- 24日(火) 最上地区広域連合12月定例会

令和7年  
1月

- 7日(火) 鯉川村新春のつどい
- 9日(木) ※県議会議員へ災害復旧に係る要望活動
- 14日(火) ※山形県知事来村対応
- 16日(木) ※災害復旧復興に係る取材対応 (NHK)
- 20日(月) ※山形県知事来村対応
- 22日(水) 臨時議会
- 31日(金) 議会広報常任委員会
- ※さけがわ雪祭り準備

令和7年  
2月

- 1日(土) ※村スポーツ協会主催「スポーツでワクワクする鯉川村をつくろう」
- 5日(水) 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 7日(金) ※最上地域空き家活用フォーラム
- 10日(月) 全員協議会
- 15日(土) ※インバウンド事業先進地視察(群馬県)
- 20日(木) ※最上地区有志新人議員研修会
- 24日(月) ※日本テレビ「はじめてのおつかい」村内ロケ対応
- 28日(金) ※これからの子育てを考える講座(オンライン)

令和7年  
3月

- 3日(月) 全員協議会
- 4日(火) 最上地区広域連合3月定例会
- 7日(金) 3月定例会開会
- 10日(月) 予算審査特別委員会(～11日)
- 12日(水) 産業厚生常任委員会及び広報常任委員会
- 13日(木) 3月定例会最終日及び自治懇談会
- 14日(金) 鯉川中学校卒業式
- 18日(火) 鯉川小学校卒業式
- 21日(金) 臨時議会
- ※最上地域観光プロジェクト会議
- 25日(火) こまどり保育所卒園式

令和7年  
4月

- 4日(金) こまどり保育所入園式
- 8日(火) 鯉川小・中学校入学式
- 12日(土) ※融雪後の被災箇所に関する取材対応(NHK)
- 18日(金) 最上地区広域連合全員協議会
- 20日(日) 村消防団大演習
- 23日(水) 最上地区広域連合臨時会
- 25日(金) ※最上地区有志新人議員研修会
- 議会広報常任委員会
- 26日(土) ※小杉の大杉観光客入込状況調査

※は独自の活動です。

## 議員主な活動日誌

# 一般質問 ● 西野桂一の質問要旨

## ◎12月議会

### 7月発生豪雨災害に伴う復旧復興計画について

#### 要旨

- ①復旧復興に向けた復興方針、体制づくりや財源確保が曖昧な現状下、きちんとした計画を策定し、効果的に進めるべきと問う。(現職時代の経験や過去の大災害事例を参考に具体的な支援体制や施策を提案する)
- ②土砂崩れにより多くの家屋等が損壊し、現在でも人命や家屋に大きな危険を及ぼし、被災者や近隣住民は多くの不安を抱きながら過ごしている。もっと住民に寄り添った情報提供や話し合いなど住民と一体となって取り組むべきと問う。(他の市村では既に住民との話し合いを数回行っている)
- ③農地等復旧事業において、多くの箇所が国の補助事業に申請されず、村単独事業対応となり、村の財政に大きな負担が生じていることを追求。(私自身が村内の農地等被害調査を行い実態が判明。担当課の体制拡充と国への申請期間延長の要望をすべきと提案)
- ④災害復旧復興計画(財政計画含む)のない中で、現在進んでいる村の基本計画「総合発展計画」の推進及び新統合保育所建設についての考えを問う。(そもそもの喫緊課題の地方創生事業の推進は？未だに計画内容が確立されてない保育所建設をこのような状況で進められるのか？)

#### 村長

- ①復興計画については、これから検討を進める旨の答弁。(戸沢村などでは村長自ら先導し、既に国等への要望方針や県職員の支援体制が確立されている。)
- ②住民との話し合いの場を提供し、住民との合意形成を図っていく。国の補助事業「がけ地近接等危険住宅移転事業」に対応していく旨の答弁。(被災者等住民との話し合いは基本中の基本であるはずが・・・)
- ③農地等災害復旧において、申請スケジュールの中で限定せざる得なかった旨の答弁。(後に、国及び県の配慮で申請期間の延長が決定されたが、対応されず国と県に村の信用を失うような結果)
- ④災害復旧事業を最優先に財政計画を見直しながら、事業の実施時期等を検討。新保育所建設については、計画通り(令和7年度着工)に進めていく旨の答弁。(後に、新保育所建設着工を数年先送りすることの方針が議会に説明された)

## ◎農地・農業用施設災害復旧事業の制度概要

農地等に災害が発生した場合、1か所当りの復旧工事費が40万円以上の箇所については、国の補助事業(本年災の補助率 農地 97.8%、施設 99.8%)を活用、40万円未満※については、小災害復旧事業(被害規模により国や県の補助あり)で対応されている。(※令和6年災害の小災害復旧事業については、激甚な被害のため100万円以内に拡大された。)

また、復旧工事時期については、制度上は発生から3か

## ◎3月議会

### 本村における雪対策計画について

#### 要旨

人口減少、少子高齢化対策において、雪対策は極めて重要な施策。本村でも独自の雪対策計画を策定し、安心・安全な雪対策や雪のメリットを生かした地域づくりの必要性を問う。(村民が小雪地域への転出が増えている現状、村の人口減少推計値より加速している危機感を踏まえて、他市町村の取り組み事例を参考に具体的な施策を提案する)

#### 村長

本村の雪対策計画策定に向けて進めていく。  
国の交付金は、今後制度の周知を図り地域やボランティアの取組を支援していく。冬のインバウンド対応については、受け入れ態勢などの整備は必要。免許取得への補助や待遇面の改善等も検討しながら、除雪オペレーターの確保に努めていく。

## ◎2議案に反対討論(要旨)

### 議案第5号 令和6年梅雨前線豪雨等による農地等災害復旧事業分担金徴収条例の特例に関する条例の設定について

9月議会で政策決定された事項に反する不適切な事業執行(議決ないまま国の補助事業→村単独事業に切り替えた)であること、村財政に大きな不利益を与えたこと。また、農地等災害復旧工事の発注遅延など被災された受益者に大きな不利益を与えていることを踏まえ、受益者からの分担金徴収はすべきでないと反論。(採決により全会一致で原案が否決された。追加議案で分担金徴収免除の内容で可決)

### 議案第7号 鮭川村長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由では、「職員の不祥事による監督責任」のみに対する村長の減給措置(2ヶ月間、2割削減)であるが、先の議案第5号の討論のとおり、農地等災害復旧事業の執行について、極めて不適切な事業執行及び村財政への損失並びに受益者への不利益など村政に対する信頼を大きく損なう結果を招いたことを含め、提案の減給額はあまりにも軽すぎると反論。(採決により賛成5人、反対4人で原案とおり可決された)

※討論とは、議案の採決の直前に行われる手続きで、議員がその議案について自らの立場(賛成又は反対)を公に示し、理由を述べる場。有権者に対する説明責任の一環になっている。

年間で事業完了することとなっているが、翌年度耕作への支障を配慮し、早期着工に向けた制度が確立されている。

加えて、小規模自治体の技術者不足を補うため、専門家や民間コンサルタントなど様々な支援体制が構築されている。

詳細は議会広報で

# 西野桂一後援会事務所

ご意見・ご要望等は、西野桂一後援会事務所まで

〒999-5201 最上郡鮭川村大字京塚3020  
TEL(携帯) 090-7931-8774  
E-mail:kezu.17-4rms@softbank.ne.jp

